

単元名 **【旧】冬を明るく暖かく**配当時間 **6時間**

- 単元の目標 (1) 季節の変化に合わせた生活の仕方を理解し、冬の快適な住まい方や暖かい衣服の着方に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 冬の住まい方や衣服の着方について課題を見付け、冬を暖かく快適に過ごすために、自分なりに着方や住まい方を工夫することができる。
- (3) 自分の生活を見直し、冬の快適な住まい方や衣服の着方について考え、工夫して快適な生活を送ろうとする。

標準的な展開例

06090305_001

【準備等】照度計、温度計、方位磁針、省エネに関する資料

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 冬の暮らしの特徴を考え、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏と冬の生活の違いを考える。 ○ p. 102, 103を参考にして快適に過ごすための工夫について話し合う。 ○ 単元の学習課題をつかみ、学習計画を立てる。 ★ 冬の生活を見つめよう <p>2～4 自然を生かした住まい方や、衣服の着方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 快適な住まい方や着方を考えよう ○ いろいろな場所の気温や明るさを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所 ・ 高さ ・ 方角 など ○ 日光の利用について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 採り入れる工夫 ・ 利用する工夫 ・ 暖かさを保つ工夫 ○ 暖かい衣服の着方について考える。 <p>5 効率のよい暖房器具の使い方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 安全に効率よく暖房器具を使う方法を調べよう ○ 家庭でどのように暖房器具を使っているか発表し合う。 ○ 暖房器具の特徴を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房器具を使うときに起きる危険 ・ エネルギーの節約の仕方 <p>6 家庭実践の計画を立て、単元のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 快適な冬の暮らしを实践しよう ○ 健康で快適な暮らし方の工夫を話し合う。（言語活動） ○ 家庭での実践計画を立てる。（活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 72, 73とp. 102, 103を比較して考えさせる ・ 暖房器具だけではなく、日当たり、明るさなどにも目を向けさせる。 ・ 単元の学習について見通しをもって取り組むようにする。 ・ 温度計や照度計を使って、日光や暖房の効果を確かめるようにする。 ・ 目の健康に必要な明るさを保つための照明の利用にも触れる。 ・ 重ね着の効果について簡単な実験を行うとよい。 【評】 冬の住まい方の工夫を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 家庭で工夫していることを事前に調べさせておく。 ・ p. 106, 107「プロに聞く」を参考にさせる。 【評】 効果的な利用を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 冬の住生活、衣生活を見直して課題を見つけ快適な衣服の着方や住まい方を考えさせる。 ・ 自分に出来そうな暮らし方の工夫についての意見交換を行わせる。 ・ 学級での話し合いを生かした工夫を实践させる。 【評】 実践計画を立てる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

児童は「夏をすずしくさわやかに」の学習で、暑い季節に快適に暮らす方法を身に付けている。本単元では、季節の変化に伴い、寒い季節の快適な暮らし方について考えていく。日光や採光、暖房、衣服の着方の効果について調査したり、考えたりする活動を通して、快適に過ごすための工夫を考える。また自分の住まいの快適さだけでなく、地域環境や地球環境にも目を向け、エネルギー資源の有効活用などの視点も含めて学習を進めることが大切である。言語活動としては、家庭で実践しようと思うことを話し合う活動を行い、よりよい実践を見つけさせるようにする。

本単元の学習は、第3学年の保健・体育「気持ちのよい生活かんきょう」、第3学年の理科「かげと太陽」、第4学年の理科「もののあたたまり方」、第5学年の社会「日本の国土と人々のくらし」、第6学年の家庭「夏をすずしくさわやかに」の内容が関連しているため、それらを踏まえた指導が必要である。